

8-4-31 環境専門委員会

部長 大野 隆 氏

見学会：R7.10.23 7:30～15:00 参加者 20 名

開催場所：熊本県人吉市 等 球磨川流域

（市民参加型 IoT 取組箇所、瀬戸堤自然生態園（自然共生サイト）、遊水機能を有する土地、あさぎり活動拠点等）

環境セミナー開催後、実施報告書をホームページに掲載し、講演会のビデオライブラリーも作成し協会員への情報提供を行った。

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

令和 7 年 4 月より 2 ケ月毎に計 6 回開催し、技術部会等からの報告事項、依頼事項に関する審議、当専門委員会の活動及びイベントに関する協議を行った。また、同時に勉強会を実施し「脱炭素社会の実現に向けたグリーントランスフォーメーションの推進、最近の動向」、「流域治水 2.0 プロジェクトの概要・事例及びその後の展開」、「環境影響評価法の改正」、「PFAS ハンドブックの概要」等について各ワーキング・グループより話題提供を受け、建設コンサルタントが担う役割等について意見交換を実施した。

(2) 協会員を対象にした環境セミナーの開催

今年度は、熊本県内にて「共創する流域治水～災害に強く自立した地域づくりへ～（球磨川での流域治水）」と題し、豪雨で甚大な被害を受けた球磨川流域において、「流域治水を核とした、大災害後も安全・安心に住み続けられ、豊かな環境と若者が残り集う持続可能な地域の実現」を地域ビジョンに掲げて流域治水に取り組んでおられる方々を講師にお招きし、以下の講演会、見学会を開催した。なお、講演会はオンライン形式で会員会社に参加していただき、現地見学会は環境専門委員会委員のみで実施した。

講演会：R7.10.22 14:00～17:00 参加者 155 名

演題①：共創する流域治水

講師①：熊本県立大学 緑の流域治水共創拠点 特別教授 島谷 幸宏 氏

演題②：Nature based solutions(NbS)に基づく流域治水×環境再生

講師②：熊本大学大学院 先端科学研究部土木建築学研究部門土木環境分野

教授 皆川 朋子 氏

演題③：共創の流域治水と地方銀行の役割

講師③：肥後銀行地域振興部

(3) RCCM 更新テキスト(建設環境)の改訂

更新講習用のテキスト(PPT)について、最新情報の追加更新を行い、演習問題も更新した。

(4) 協会本部、技術部会等からの依頼対応

a) 意見照会等への対応

統括技術委員会、社会マネジメント技術委員会からの意見照会や情報提供等に対応した。

b) 業務研究発表会一次審査員・運営補助

横断領域 WG の委員 1 名を選任し、一次審査及び研究発表会当日の運営補助を務めた。

c) 対外活動委員会 WG（水資源機構）委員受嘱

当専門委員長が受嘱し委員会対応した。

2. 外部団体の委員会等、委員受嘱

(1) 国交省「公共工事の環境負荷低減施策推進委員会」委員受嘱

・当専門委員長が受嘱し委員会対応した。

3. 次年度の活動について

建設コンサルタント業務の中で環境に関する相互の技術水準の向上を目的とし、技術動向や最新の知見を収集し、会員会社・発注者・関係団体等への情報発信を行う。

・専門委員会の開催：年 6 回（2 ケ月に 1 回）

・環境セミナーの開催：年 1 回（1 会場）

・RCCM 更新テキスト(建設環境)の改訂

・環境専門委員会内の勉強会の実施

・外部講師を迎えた講演会の開催及び協会員への情報提供

・協会本部、技術部会等からの依頼対応

・外部団体からの意見照会、協力依頼対応

・その他：関連機関との意見交換会等の開催

（環境専門委員会委員長 大塚 宣昭）